

項目	書名 <h1 style="text-align: center;">美術</h1> <p style="text-align: right;">9 開隆堂</p>	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○発達の段階に応じて系統的に構築された題材を設定するとともに、授業の目標、内容や方法、培いたい資質や能力を明確に整理して具体的に紙面に示し、教科の目標を達成するための工夫をしている。</p> <p>○美術で培った力を生活や社会に役立てることを明確に示して主体的な学びを促すとともに、日本及び諸外国の優れた美術文化を精選して提示し、感性を豊かにし、美術文化についての理解を深めるための工夫をしている。</p>	
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○基礎的な技能や安全で効果的な道具の使い方についての知識、色彩についての理解などの表現を支える学びを、分かりやすく系統的に学習できるように巻末の「パレットコーナー」「工具箱」にまとめて提示し基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫をしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○作者の言葉や、発想のヒントにより、豊かに発想し創意工夫することを促すとともに、技能の習得のみに偏らないよう、デザインのプロセスなど、発想や構想の方向性を重視して示す工夫をしている。</p> <p>○発展的、系統的な題材を効果的に配列し、題材間で関連する学習内容を明らかにし、生徒が既習内容を生かし、表現力を高めていける工夫をしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「学習の目的」と「学習の振り返り」により、生徒が授業展開に見通しをもって取り組み、自己評価する際は観点を得られ、主体的な学びの保証をしている。</p> <p>○生活に生かす視点、美術の学習が社会に役立つことを示す題材や資料が豊富に示され主体的な学習に取り組む態度を養う工夫をしている。</p> <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫></p> <p>○「絵巻物の世界」では一部ページが逆に展開させ、絵巻物の見方やよさを味わうことができる工夫をしている。</p> <p>○「原寸ギャラリー」は、鑑賞のきっかけとなる言葉が示され、優れた日本の美術作品について生徒の気付きを促すとともに、質感や技法なども見取ることができ、様々なよさや美しさを味わわせる工夫をしている。</p>
	資料	<p>○折り込みページの活用や大型図版の掲載、原寸大の作品の提示によって、鑑賞学習の充実を図ると共に、鑑賞学習の導入及びきっかけとなる「問いかけ」を設定し、鑑賞学習を重視した資料が充実している。</p> <p>○活動の情景を大きく紹介するなど、全ての生徒に学習したいという意欲がわいてくるよう、「わかりやすさ」に配慮した資料となっている。</p>
	表記・表現	<p>○題材名の下に活動のねらいを示し、全ての題材に共通して4観点の振り返りがページ右下に分かりやすく表示されている。</p> <p>○レイアウトに変化をもたせ、伝統文化やその作品の特徴を大切にしている。</p> <p>○生徒の言語感覚を大切にし、生徒の心に語りかけて題材内容や用法をイメージできる文章表現になっている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインにより、色覚に多様性のある全ての生徒に対して内容の伝わりやすい配色や形状の工夫がされている。</p>
総括	<p>○地域の実態に合わせて入手しやすい材料を扱ったり、地域の文化財や美術館といった学校外の資源も活用するなど、地域や学校の実態や特徴に合わせて学習できるように工夫されている。</p> <p>○全体を通して、生徒にとって見やすい、学びやすい表現や提示が貫かれ、美術科の目標を確実に達成することを目指した内容であることが特徴である。</p> <p>○「美術1」「美術2・3」それぞれの表紙から、美術の役割、美術を通して他人の気持ちを想像する大切さ、平和と美術を考えるきっかけ等「美術文化の学習を通して人間教育」のメッセージが伝えられている。</p>	

書名		美術	
項目		38 光村	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○学年の系統性を配慮して、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、基礎となる資質や能力の定着を図れるように題材を配列している。</p> <p>○各巻冒頭に「うつくしさ」について考えるための詩、随所に「作者の言葉」、作品を原寸大で掲載する「原寸大で鑑賞しよう」により、美術を愛好する心情を育て、感性を豊かにするための工夫をしている。</p>	
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○巻末に技法や用具の扱い方を深める資料を掲載し、基礎的・基本的な能力を身に付けさせる工夫をしている。特に水彩、レタリング、陶芸、木彫などの技法についての資料が見やすく分かりやすく示されている。</p> <p>○鑑賞資料はアジアをはじめ様々な地域の作品を取り上げ、美術史資料が詳しく、社会科等、他教科と関連して知識を習得できる工夫をしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「みんなの工夫」で作品づくりの過程を追い、主題の生成から試行錯誤を経て完成に至るまでの様子を示し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○生徒の発達段階に合わせた問いかけや生徒の視点で設定された題材があり、意欲をかき立て、主体的に取り組む態度を養う工夫をしている。</p> <p>○「美術2・3」では、アンジェラ・アキ氏の詩とともに自画像の題材が紹介され、生徒の体験や生活に根ざして、また国語、音楽、道徳と関連させて学習できるよう工夫されている。</p> <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫></p> <p>○日本武術の作品を多く掲載し伝統文化を尊重する一方、ICTを活用する活動、東日本大震災を受けての美術やデザインなど多様な資料を取り上げ、興味関心を高め、様々なよさや美しさ味わわせる工夫をしている。</p> <p>○「原寸大で鑑賞しよう」では、細部にわたり工夫を凝らした作者の心情や思いを想像して深く鑑賞できるよう工夫されている。</p>	
	資料	<p>○「美術1」では「風神・雷神像（三十三間堂）」と「風神雷神図屏風（俵屋宗達）」、アーサー・ビナード氏の詩を合わせて紹介されており、生徒が作品をじっくりと鑑賞し、創造力を働かせることのできる構成の資料である。</p> <p>○「美術2・3」「ゲルニカ（ピカソ作）」は谷川俊太郎氏の詩とともに紹介され、生活や社会との関わりの中で存在する美術について考える資料である。</p>	
	表記・表現	<p>○教科書の中に「目標、共通事項、ヒント、作者の言葉、生活に生かそう、国宝、コラム、安全注意、道徳、資料との関連など」の多様なマークがあり、美術科で学ぶ学習内容やねらい、伝統文化の尊重など多様な学びを感じ取れる工夫をしている。</p> <p>○色覚特性などが配慮され、全ての人を使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインがされている。</p>	
総括		<p>○谷川俊太郎氏の「うつくしい！」の詩に象徴される、生徒の視点を大切にし、生徒作品や作品づくりの表情などが多数掲載された、授業で読み、鑑賞し、調べるなど十分活用できることをめざした機能的な内容である。</p> <p>○作品づくりの中で発想力・構想力・表現力を身に付けるだけでなく、生活や社会と関わる美術の働きを取り上げ、美術科での学びが学校だけでなく、暮らしや社会との関わりの中で生かされていることを実感できる内容となっている。</p> <p>○マークを使い学習のポイントを示し、生徒の発達段階に合わせた主体的な活動を支援している。</p>	

項目	書名 美術 116 日文	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○豊富な美術作品と幅広い美術文化の紹介から、表現及び鑑賞の幅広い活動を支援し、美術を愛好する心情を育てる工夫が見られる。 ○生徒作品や作者の言葉から、イメージや表現、共感できる価値観など、生徒の主体的な創造活動を促す工夫をしている。 ○「道徳」との関連についてのマーク表記と説明があり、「美術」と「心の教育」を結び付ける工夫をしている。 	
特色	<p>特 内容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材ごとに4観点の「学びのねらい」がわかりやすく示している。 ○資料図版やアイデアスケッチ、作品解説により、制作過程がわかりやすく紹介されている。 ○色彩や道具の使いなど、巻末資料に掲載することにより、基礎的・基本的な能力を身に付けさせる工夫をしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○大きな紙面に多数の作品と作者の言葉を掲載し、よりよい表現方法の追求に繋げるとともに、鑑賞の能力を高める工夫をしている。 ○発想を広げる問いかけの言葉があり、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の手立て、発想や構想の手掛かりとなる内容を「POINT」として提示し、生徒自ら学習に取り組む態度を養う工夫をしている。 ○多様な生徒作品のイメージや表現から学び、生徒が自分の作品に生かそうとすることができる。 ○問いかけの言葉により、グループで話し合ったり、発表しあったりするコミュニケーション能力の育成を図ることができる題材の設定がある。 <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒作品の「作者の言葉」により、表現と鑑賞活動の一体化が図れ、興味や関心を高めることができる。 ○平面、立体を問わず、歴史的なものから現代の作品まで幅広く美術文化、興味や関心を引く充実した内容。 ○時代を経ても変わることない有名な作品が多く掲載され、伝統を受け継ぐ意識を育む鑑賞の授業に適している。 ○2・3下「光と影の空間演出」などは、心豊かに生活するための能力を身に付けるこれからの美術の題材として、非常に興味を引く内容である。
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○3冊（1年、2・3年上、2・3年下）の構成で合計ページ数が多く、巻末の材料や用具の扱い方、年表などの資料も豊富である。 ○2・3年上では和紙を使用し、触覚と視覚を働かせて浮世絵の鑑賞を一層深めることができる。 ○A4ワイド判により、ページの構成にゆとりがあり、見やすく分かりやすい。 ○原寸大または大画面で有名な作品をより間近に感じることができる。
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○学びのねらい（4観点）の提示が分かりやすく、学習のてだては「POINT」で示している。 ○「注意しよう」では、安全面から著作権についての注意点まで提示してある。 ○道徳との関わりについても提示し、授業に生かすことができる。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の規格が大きく、無理なく写真資料がページに収まり見やすさと分かりやすさと資料の豊富さが特徴である。内容も生徒作品から有名作品まで、生徒の興味・関心を引く充実した内容である。また、「学びのねらい」や「POINT」など主体的な学びを支えると共に「自分」「他者」「社会」「自然」の枠組みで整理され、つながりと広がりのある学びが期待できる。 	